

令和8年3月2日に公告した「令和7 年度河川調査第940-01-A 号耳川水系総合土砂管理計画の評価・改善に関する業務」について、下記のとおり変更します。

令和8年3月5日
日国土木事務所長

修正前	修正後
なし	第 2 章 業務内容 1.業務目的 本業務は、耳川水系における度重なる浸水被害の原因である様々な課題の解決に向けて策定された「耳川水系総合土砂管理計画」に基づき実施するモニタリング結果、及び「耳川水系総合土砂管理計画」の柱の一つである「行動計画」の実施結果をとりまとめ、評価・改善を行う委員会等（第 15 回ワーキンググループ、第 15 回評価・改善委員会）に諮る資料の作成を行うものである。 2.業務内容 2.1 計画準備 本業務の内容・目的を十分把握した上で、業務の円滑な実施及び適正な品質の確保のための作業全体の技術的方針、作業内容、作業スケジュールを整理し、業務計画書を作成する。 2.2 耳川水系総合土砂管理計画の評価・改善に関する検討 2.2.1 モニタリング結果及び行動計画の実施結果のデータ収集・整理 令和7年度のモニタリング結果及び行動計画の実施結果を対象に、評価・改善委員会に諮る資料作成に向けたデータの収集・整理を行う。また、令和8年度のモニタリング結果及び行動計画の実施結果を対象に、ワーキンググループに諮る資料作成に向けたデータの収集・整理を行う。なお、評価・改善委員会及びワーキンググループとも各1回の実施を予定とする。 ※モニタリング項目：モニタリング数 31…別表 1 参照 ※行動計画カルテ：各事業者が実施する事業に対し、耳川水系総合土砂管理の観点から自己評価を記入したもの…別表 2 参照（受注者が各事業者より収集（全 59 事業）） 2.2.2 評価・改善委員会及びワーキンググループの資料作成 令和7年度モニタリング結果及び行動計画の実施結果の整理データを用いて、第 15 回評価・改善委員会の会議資料を作成する。作成にあたっては、前回委員会等で指摘があった事項に対するモニタリング手法又は評価手法等の改善案を作成する。 また、令和8年度のモニタリング結果及び行動計画の実施結果の整理データを用いて、モニタリング及び行動計画の実施結果を基にした各領域の「行動計画評価シート」（案）を作成し、第 15 回ワーキンググループ資料を作成する。 更に、第 14 回ワーキンググループでの意見・提案等を踏まえ、第 15 回評価・改善委員会資料の「行動計画評価シート」及び「改善に関する検討（モニタリング及び行動計画（対策）に関する改善（案）」を作成する。 ※個別課題評価シート…別表 3 参照 ※問題・課題評価シート「耳川通信簿」…別表 4 参照 1

令和8年3月2日に公告した「令和7 年度河川調査第940-01-A 号耳川水系総合土砂管理計画の評価・改善に関する業務」について、下記のとおり変更します。

令和8年3月5日
日向土木事務所長

示

なし

※問題・課題総合評価シート「耳川通信簿」…別表5 参照
※改善に関する検討資料…別表6 参照

2.2.3 評価・改善委員会及びワーキンググループの運営補助
評価・改善委員会及びワーキンググループの運営補助を行う。…表1 参照

表1 委員会等の概要（次年度案）		
	第15回 評価・改善委員会	第15回 山地・ダム・河運・河口海岸WG
開催時期	令和8年7月中旬	令和9年3月予定
開催場所	日向市 (日向市内ホテル)	美郷町 (公共施設)
委員	18名	23名
その他出席者数	約50名	約50名
資料印刷部数※	A3×470ページ ×60部を想定 (随行、一般情報分)	A3×670ページ ×60部を想定 (随行分)
議事録作成	議事要旨	議事要旨作成
	速記録	
会議時間	3時間	3時間
その他	借上バス (小型1台)	—

※資料印刷部数については、出欠状況及び出席者の意向により変動する場合がある。

(評価・改善委員会及びワーキンググループでの作業内容)

- ・会場内のテーブル等の配置・片付け（会場の選定・予約は発注者が行う）
- ・案内表示・横断幕の作成・設置
- ・ネームプレート、名札の作成・設置
- ・マイクの手配・受け渡し
- ・会議記録の作成（議事録・議事要旨の作成、写真撮影）
- ・スクリーン、プロジェクター、PC、レーザープリンター等の設置
- ・会場受付、委員謝金(1万円/人)・交通費の準備・会議室支払い、会場配席表の作成
- ・資料印刷
- ・借り上げバス、レンタル品、速記者、委員、飲み物（委員、出席者）等の手配・支払い
- ・その他（協議による）

※上記の評価・改善委員会及びWGに係わる経費は直接経費として精算対象とする。

令和8年3月2日に公告した「令和7 年度河川調査第940-01-A 号耳川水系総合土砂管理計画の評価・改善に関する業務」について、下記のとおり変更します。

令和8年3月5日
日向土木事務所長

修正前	修正後
なし	3. その他 3.1 打合せ等 業務の打合せは、業務着手時(1)、委員会前(1)、WG前(2)、成果品納入時(1)の計5回とし、打合せには管理技術者が出席するものとする。 3.2 報告書作成 本業務の成果品として以下を納品すること。 ・報告書3部・電子データ（CD-R）2枚 3.3 貸与資料 本業務に参考となる資料。「耳川水系総合土砂管理計画」関連資料一式 (https://www.pref.niigasaki.lg.jp/kasen/kurashi/shakaisikiban/page00135.html)

令和8年3月2日に公告した「令和7 年度河川調査第940-01-A 号耳川水系総合土砂管理計画の評価・改善に関する業務」について、下記のとおり変更します。

令和8年3月5日
日向土木事務所長

修正前

修正後

なし

別表 1 モニタリング項目一覧

調査項目		実施主体	調査頻度	備 考
1.水 質		九州電力	定期調査：3 回/年	*
	日向市		定期調査：1回/年	水道水
	2.河床材料	九州電力	定期調査：1回/年	*
3.底 質		九州電力	定期調査：2回/年	* 海城のみ
4.河道形状		九州電力	定期調査：1回/年	*
5.河床縦横断		九州電力	定期調査：1回/年	
		宮崎県(日向土木)	定期調査：2回/年	*
動 査 物 調	6.魚 類	九州電力	定期調査：1回/年	漁獲高
	7.底生動物	九州電力	定期調査：2回/年	*
	8.付着藻類	九州電力	定期調査：2 回/年	*
植 査 物 調	9.河岸植生	九州電力	定期調査：1回/5年	*
	10.落葉	九州電力	定期調査：2回/年	* 河川のみ
	11.裸地面積	宮崎県、九州電力	定期調査：1回/年	
12ダム堆砂	堆砂形状	九州電力	定期調査：1回/年	
	堆砂量	九州電力	定期調査：1回/年	
	利水容量	九州電力	定期調査：1回/年	
13.流況(豊平低渦)		九州電力	定期調査：1回/年	雨量含む
14.土石流危険渓流整備率		宮崎県(砂防護)	定期調査：1回/年	
15.保安施設整備率		宮崎県(自然環境課)	定期調査：1回/年	
16.路網密度		宮崎県(森林経営課)	定期調査：1回/年	
写 真 観 測	17.景観・親水	宮崎県(日向土木)、日向市、美郷町、諸塚村、榑桑村、九州電力	定期調査：4回/年	流域景観ポイント等
	18.定点観測	宮崎県(日向土木)、九州電力	定期調査：4回/年	
	(河川状況、構造物基礎)			
	19.ダム流木到達状況	九州電力	出水後	
	20.洪水時流下状況	九州電力	出水後	定点+氾濫地点
		諸塚村		
	21.海城漂流状況	漁業組合	出水後	
	22.海岸漂着状況	宮崎県(日向土木)	出水後	
	23.砂防施設	宮崎県(日向土木)	定期調査：1回/年	異常出水時の測量整理含む
	24.取水口(工業用)	不定期		
	堆砂状況	宮崎県(企業局)	(維持作業発生時)	
25.土砂除去量(港湾)		宮崎県(北部港湾事務所)	定期調査：1回/年	
26.海岸漂着物処理実績		宮崎県(北部港湾事務所)	定期調査：1回/年	
27.流木処理実績		九州電力	定期調査：1回/年	
28.航空写真(汀線)		宮崎県(日向土木)	航空写真更新時	
29.水質、底生動物		地域住民	実施時	身近な水辺のモニター
		漁協組合		ふるさと水辺調査
30.ヒアリング		広域森林組合	1 回/年	皆伐・マシロール
31.水害統計資料		宮崎県(河川課)	1回/年	

*：ダム通砂運用に関連した環境調査
データ入手時期：5月、12月に収集(河川課)

4

令和8年3月2日に公告した「令和7 年度河川調査第940-01-A 号耳川水系総合土砂管理計画の評価・改善に関する業務」について、下記のとおり変更します。

令和8年3月5日
日国土木事務所長

修正前

なし

修正後

別表 2 行動計画カルテ

行動計画カルテ（計画番号：01）			
事業名	森林整備事業	事業に関連する上位計画	
事業主体	宮崎県	内容	・分野（産業づくり） ・施策の体系（C-2-(2)）
担当部局	環境森林部 森林経営課		
【事業内容、目的】 森林は、林産物を供給するとともに、国土の保全、水資源の涵養、保健休養の場の提供、自然環境の保全・形成等の多様な公益的機能を有しており、適切な管理を行うことによって、健全な森林の整備を図るとともに、これらを通じて森林の有する各種の公益的機能の高度発揮や山村経済の振興を図る。 ・流域育成林整備事業：流域における木材等森林資源の循環利用や、水源涵養機能又は山地災害防止機能の維持増進を図るための森林整備を行う。 ・公的森林整備推進事業：森林所有者等による整備が進み難い森林等について、分取林方式又は市町村の誘導による森林整備を行う。 ・公的森林整備事業：森林所有者の自助努力によっては適正な整備が期待できない条件不利地等において、森林の公益的機能を発揮させる観点から、公的主体による森林整備を行う。※25 年度から実施 ・森林緊急造成：自然条件等の理由で更新が困難な森林について、地方公共団体と森林所有者による協定等に基づいて人工造林等を行う ※令和元年度から実施			
【事業期間】		【計画期間】	継続
【事業実施経緯】 平成 23 年度：植栽 556ha、下刈 3,301ha、除間伐 609ha を実施・・・・・・評価（○） 平成 24 年度：植栽 601ha、下刈 3,088ha、除間伐 887ha を実施・・・・・・評価（○） 平成 25 年度：植栽 593ha、下刈 3,182ha、除間伐 1,194ha を実施・・・・・・評価（○） 平成 26 年度：植栽 524ha、下刈 3,187ha、除間伐 1,150ha を実施・・・・・・評価（○） 平成 27 年度：植栽 647ha、下刈 3,264ha、除間伐 180ha を実施・・・・・・評価（○） 平成 28 年度：植栽 624ha、下刈 3,396ha、除間伐 528ha を実施・・・・・・評価（○） 平成 29 年度：植栽 662ha、下刈 3,443ha、除間伐 622ha を実施・・・・・・評価（○） 平成 30 年度：植栽 527ha、下刈 3,432ha、除間伐 620ha を実施・・・・・・評価（○） 令和元年度：植栽 562ha、下刈 3,348ha、除間伐 369ha を実施・・・・・・評価（○） 令和2 年度：植栽 528ha、下刈 3,380ha、除間伐 1,013ha を実施・・・・・・評価（○） 令和3 年度：植栽 530ha、下刈 3,265ha、除間伐 598ha を実施・・・・・・評価（○） 令和4 年度：植栽 518ha、下刈 3,036ha、除間伐 461ha を実施・・・・・・評価（○） 令和5 年度：植栽 543ha、下刈 2,954ha、除間伐 560ha を実施・・・・・・評価（○） 令和6 年度：植栽 494ha、下刈 2,805ha、除間伐 586ha を実施・・・・・・評価（○）			
直接的、間接的に 関連する 問題・課題		<山地領域> (1)崩壊地からの土砂流出、(2)土石流等の土砂災害の発生、(3)自然景観の消失、 (4)生物生息環境の変化、(5)産業基盤の流出、(6)治水緩和機能の低下、 (7)洪水緩和機能の低下、(8)砂防施設容量減少 <ダム領域> (9)貯水池末端部治水安全度低下、(10)利水容量の減少、(11)取水口の浸没。	

令和8年3月5日
日向土木事務所長

修正後

別表3 個別課題評価シート（各領域）



別表 4 問題・課題評価シート「耳川通信簿」(各領域)

[illegible]

令和8年3月2日に公告した「令和7 年度河川調査第940-01-A 号耳川水系総合土砂管理計画の評価・改善に関する業務」について、下記のとおり変更します。

令和8年3月5日

日向土木事務所長

修正前		修正後	
別表 5 問題・課題総合評価シート（流域全体）		別表 5 問題・課題総合評価シート（流域全体）	
別表 6 改善に関する検討		別表 6 改善に関する検討	
行動計画の改善に関する資料		行動計画の改善に関する資料	
モニタリング調査等の改善に関する検討		モニタリング調査等の改善に関する検討	